学校だより
藤紫（ふじむらさき）
令和２年度　第１号
長崎県立諫早高等学校・附属中学校
〒854-0014　諫早市東小路町1番7号
TEL 0957-22-1222 FAX 0957-22-5104
http://www.news.ed.jp/isahaya-h/
令和２年 ５月11日発行　No１５９.

『自立創造と自律』

校長　原田　尚之

４月８日に行われた入学式でお話しいたしました内容の一部を転載（一部改）することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

新入生の皆さん。いよいよ今日から本校の生徒として新しい生活が始まります。この記念すべき日にあたり、私の所感を述べたいと思います。
〇本校の校訓である「自立創造」についてです。
「自立創造」（高い志を抱いて自分の人生を自分の力で切り拓く）
これを「自立」と「創造」に分けて考えてみようと思います。まず「自立」です。インターネットで調べてみると、「他の助け無しで、一人で物事を行うこと。独り立ちすること。独立。」とあります。もう少し、詳しく調べてみると、3つの自立があるそうです。
① 技能的な自立：勉強や仕事の能力、問題を発見・解決（解決策提案）できる
② 経済的な自立：自ら稼いだ収入で生活できる
③ 身体的な自立：健康な体づくり・身の回りのことは自分でできる
「己を知り、他者を知り、自分を信頼する」これさえできれば自立できるとありました。
これらのことから「自立」している人とは、自ら提案できる人、主体的に行動できる人、客観的に見て自分をコントロールできる人、必要な時に助けを求める事ができる人ではないかと考えています。

〇次に「創造」です。「新しいものを生み出すこと」とあります。今からの世の中で最も求められていることで、AI社会やグローバル社会では必要とされています。

〇もう一つの「じりつ」の話をします。立つ「自立」ではなく、律する「自律」です。
「自分自身で立てた規範に従って行動すること。」とあります。
もう一つの「じりつ」である「自律」は内面的な独立を指すと言えます。
これらのことから「自律」している人とは、芯の通った人、ブレない人、自分らしさを失わない人、嘘をつかない人ではないかと考えています。

今後は、もう一つの「じりつ」である「自律」も意識しながら、校訓である「自立創造」を胸に、高い志を抱いて自分の人生を自分の力で切り拓いてもらいたいと思います。
＜略＞

このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大で日本、世界の社会が混乱しています、様々な対応がなされていますが、今、我々にできる事は何でしょう、何ができるはずです。手洗い、うがい、マスク着用、三密状態（密閉、密集、密接）の回避等、身近な出来る事から着実に行っていく事が重要であり、加えて、新しいことを生み出す「創造」も必要です。そして、そこには、他人を思いやる心「他者理解」や自分を律する「自律」が大切だと思っています。

以上のお話しをさせていただきました。お子様との話題の一部としていただければ幸いです。
教職員一同、新たな気持ちで生徒の指導や支援に邁進いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

令和2年度入学式

令和２年4月8日(水)、令和２年度の入学式が行われました。
新型コロナウイルス感染症への対策から、今回の入学式は来賓や在校生が臨席しない中で時間を短縮しての開催となりました。校長式辞では「それぞれの目標に向け、自分の器に溢れんばかりの努力という水を入れ、同時に自分を律しながら、校訓である「自立創造」の精神を養い、高い志を抱いて自分の人生を自分の力で切り拓いていってほしい」という言葉を新入生に送りました。

対面式

４月１４日（火）、高校の対面式が行われました。
新型コロナウイルス感染症への対策から、運動場での開催となりました。応援団による迫力あるパフォーマンスや全校生徒での校歌斉唱により、１年生を歓迎しました。

志座談会

４月１０日（金）、附属中学校で「志」座談会が行われました。これは、附属中３年生のスタートにあたり、高校３年生がアドバイスを送ることで、最終学年を過ごす指針作りとするものです。また、高校３年生についても、改めて自分の目標を再確認する機会となります。座談会では、文理の選択の考え方や部活動についてなど活発な話し合いが進められました。

～コロナニモ負ケズ～

黒田篤樹さんオンライン講演会

本稿卒業生(63回生)で青年海外協力隊としてケニアで活動された黒田篤樹さんによるオンライン講演会を行いました。この講演会は高校3年生の山邊鈴さんが企画し、新型コロナウイルス感染症対策のためZoomを活用して3日間開催しました。各学年の希望者が参加し、自分の将来をどうやって作っていくかを考える良い機会となりました。

諫早高校・附属中学校ホームページもCHECK!!
臨時ページ　http://www.news.ed.jp/isahaya-h/
で情報にアクセスできます。

現在リニューアル準備中!!!